

みずほCustomer Desk Report 2019/11/27号(As of 2019/11/26)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.06
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.99	1.1011	120.02	1.2898	0.6776
SYD-NY High	109.20	1.1026	120.25	1.2903	0.6796
SYD-NY Low	108.88	1.1007	119.95	1.2835	0.6768
NY 5:00 PM	109.06	1.1018	120.22	1.2867	0.6788
NY DOW	28,121.68	55.21	日本2年債	-0.190	0.00bp
NASDAQ	8,647.93	15.44	日本10年債	-0.100	▲1.00bp
S&P	3,140.52	6.88	米国2年債	1.5879	▲2.23bp
日経平均	23,373.32	80.51	米国5年債	1.5951	▲1.15bp
TOPIX	1,705.71	2.75	米国10年債	1.7406	▲1.03bp
シカゴ日経先物	23,440.00	5.00	独10年債	-0.3740	▲2.30bp
ロンドンFT	7,403.14	6.85	英10年債	0.6500	▲4.45bp
DAX	13,236.42	▲10.03	豪10年債	1.0830	0.50bp
ハンセン指数	26,913.92	▲79.12	USDJPY 1M Vol	4.63	▲0.41%
上海総合	2,907.06	0.89	USDJPY 3M Vol	5.25	▲0.30%
NY金	1,460.30	3.40	USDJPY 6M Vol	5.85	▲0.28%
WTI	58.41	0.40	USDJPY 1M 25RR	-0.93	Yen Call Over
CRB指数	181.10	0.53	EURJPY 3M Vol	5.86	▲0.16%
ドルインデックス	98.25	▲0.07	EURJPY 6M Vol	6.35	▲0.13%

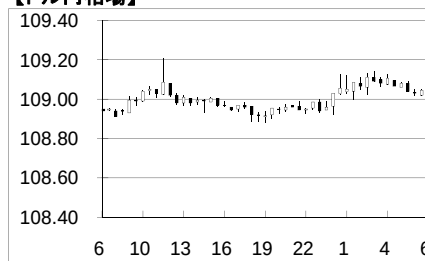
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月26日	09:00	米パウエルFRB議長 講演	-	-
	17:15	米クレー ECB専務理事 講演	-	-
11月27日	00:00	米新築住宅販売件数	10月 733k	705k
	00:00	米エンフレンスボード 消費者信頼感	11月 125.5	127
	03:00	米ブレイナードFRB理事 講演	-	-

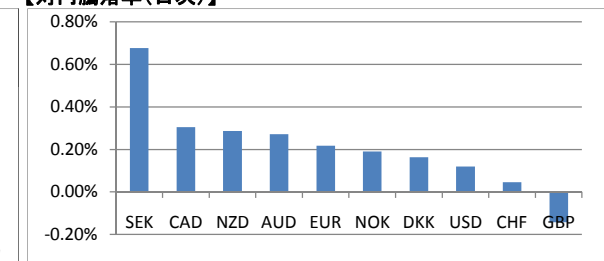
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月27日	22:30	米GDP(年率/前期比)	3Q S 1.9%	1.9%
	22:30	米個人消費	3Q S 2.8%	2.9%
	22:30	米コアPCE(前期比)	3Q S 2.2%	2.2%
	22:30	米耐久財受注(前月比)・速報	10月 -0.9%	-1.2%
	22:30	米新規失業保険申請件数	23-Nov 221k	227k
11月28日	00:00	米個人所得	10月 0.3%	0.3%
	0:00	米個人支出	10月 0.3%	0.2%
	0:00	米PCEコア(前月比)	10月 0.3%	0.0%
	0:00	米PCEコア(前年比)	10月 1.4%	1.3%
	4:00	米ベージュブック	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 保守党優位はポンド買いか

12月12日の英総選挙を見据え、世論調査にて保守党優位との報道にポンドが底堅い推移を見せており、支持率が45%を付ける世論調査も複数出てきている。保守党が過半数の議席を獲得する可能性が高まっており、保守党による単独過半数の議席獲得は、離脱協定案(WAB)の成立が確実となる点でポンドにはポジティブな反応となっている。来年の1月末に合意有りの形でEUからの離脱が成立すると、そこから2020年末までの約1年弱の期間、英国とEUは移行期間に入る事になっている。移行期間中は英国とEUとの関係は不変であり、この期間に通商関係(将来協定)について協議することとなる。英国とEUが既に新たな離脱協定と同時に合意をした「将来関係に関する政治宣言」によれば、将来協定はFTAを目指す方針が明確となっているが、実質1年弱という短期間でFTAを締結することは過去に例がなく、仮に移行期間中にFTAが締結できないとなれば、2020年末に合意なき離脱と同じ状況に陥る。予てから移行期間は1回限りで1年～2年の延長が可能となっており、合意なき離脱と同様な状況を回避すべく、移行期間は当然に延長されるものと見られているが、合意なき離脱を望まない勢力が議会の過半数を占めていることがその前提であり、仮に総選挙によって議席構成が大きく変わった場合、特にブレグジット党を含む強行離脱派は移行期間の延長を拒否すると考えられ、またジョンソン英首相も延長は望まないとの発言をしており、強行離脱派が勢力を増せば、移行期間が延長されないリスクも高まる。現状の支持率程度であれば大きな問題ではないが、総選挙を経て保守党優位となればポンド買いが意識され易い地合いではあるが、保守党が議席を取りすぎても、移行期間の延長に関して相応のリスクが将来的に起こりうる事は頭に入れておきたい。(関)

東京 東京時間のドル円は108.99レベルでオープン。米中通商協議の進展期待根強く、ドル円はじり高に推移。米中間僚級間で電話会談が実施されたとの報道を受け、一時ドル買いが強まると109.20付近まで上昇。しかし、具体的な進展を示すような内容がなかったことから、109円付近まで反落。その後は同水準で小動きし、108.97レベルで海外時間に渡った。

ロンドン ロンドン市場のドル円は、108.97レベルでオープン。特段の材料が出ない中で小動き。108.88-99円のレンジで推移し108.99レベルでNYに渡った。ポンドは、1.2896レベルでオープン。最新の世論調査で与党保守党のリードが縮まったとのヘッドラインでハンガー・メメント懸念からポンド売り。一時1.2852まで下落し1.2858レベルでNYに渡った。

ニューヨーク 108.99レベルでNYオープン。朝方は米住宅関連指標が予想を上回るが、ドル円の反応は限定的となる。その後は米中通商協議に対する期待にドル買いが強まり、109.12まで上昇。10時に発表の米10月新築住宅販売件数は予想を上回り、前回も上方修正された。同時に発表された米11月消費者信頼感指数は、期待指数は前回から上昇したものの、現況指数が前回から低下し、個人消費に陰りが見え始めているとの見方から109.00まで下押しする。その後はドル売りが強まる一方、株式市場が高値を付けにいく動きに円売りが優勢となり、109.14まで上昇する。午後は、米感謝祭を木曜に控え、市場参加者の減少が意識される中、調整からじり安で推移し、109.06レベルでクロスした。ユーロドルは1.1020レベルでNYオープン。朝方は、海外市場の流れを引き継ぎ1.1025まで戻すが、米中通商協議に対する期待からドル買いが強まり、1.1007まで反落する。その後は株高を受けたユーロ円の買いに加え、ドル売りが優勢となったことから、ユーロドルは1.1026まで戻し、1.1018レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 関・逸見 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア

ブル	ベア
11	9